

No.	所管局	施設名	所在市町村	設置目的	施設概要	財産価格	利用状況・収支等の状況 (単位:千円)						利用状況の数値の内容	運営改善	備考	
							R05(決算ベース)		R06(決算ベース)		R07(予算ベース)					
							人数	収支等	人数	収支等	人数	収支等				
15	健康医療局	平塚看護大学校	平塚市	看護師を志望する者に対し必要な教育を行うため	■敷地面積 7,377.53㎡ ■延床面積 7,964.42㎡ ■建築年 昭和48年	土地 809,497千円 建物 1,529,472千円	【利用状況】①	329人		321人		330人		学生数(実人員)	実習施設の確保、調整に努め、教育の質の維持、向上を図りました。看護師免許試験の対策をし、合格率95.8%を達成しました。	
							【収入】②		74,802		72,952		75,287			
							【支出】③		24,290		96,229		105,014			
							【収支差引】④		50,512		23,723		30,273			
16	健康医療局	煤ヶ谷診療所	清川村	■敷地面積 597.37㎡(村有地) ■延床面積 218.91㎡ ■建築年 昭和63年	土地 (村有地) 9,973千円 建物 9,973千円	【利用状況】①	4,300人		3,409人		4,169人		外来患者数、往診患者数及び受託事業での利用者数	医療費適正化の観点から、先発医薬品を後発医薬品に置き換えることで、診療所患者の医療費削減に寄与しました。		
						【収入】②		40,485		32,496		47,482				
						【支出】③		194		18,738		28,672				
						【収支差引】④		39,291		13,758		18,530				
17	産業労働局	産業技術短期大学校	横浜市	職業能力開発促進法に基づき公共職業能力開発施設として、主に新規高卒者を対象とした高度職業訓練を実施するため	■敷地面積 36,906.81㎡ ■延床面積 20,388.96㎡ ■建築年 平成2年 令和4年(西キャンパス)	土地 4,674,173千円 建物 1,799,060千円	【利用状況】①	2,492人		2,142人		3,034人		学生数(実人員)及び施設利用者数	令和4年に竣工した西キャンパスは、ZEB Readyの認証を取得し、光熱費の削減を図るとともに環境対策にも積極的に取り組んでいます。	東部総合職業技術校二俣川支所と合算です。
							【収入】②		86,443		80,314		136,891			
							【支出】③		172,327		189,552		197,521			
							【収支差引】④		114,116		109,242		139,370			
18	産業労働局	東部総合職業技術校【法令必置】	横浜市	職業能力開発促進法に基づき公共職業能力開発施設として、離職者や新規高卒者等の求職者が就職に必要な知識と技能を身に付けるための普通職業訓練(普通課程・短期課程)を実施するため	■敷地面積 38,332.56㎡ ■延床面積 20,468.06㎡ ■建築年 平成20年	土地 3,864,969千円 建物 1,002,317千円	【利用状況】①	430人		410人		590人		訓練生の数(実人員)	中小企業等により良い人材を供給するため、ハローワークと連携して、ハローワークに所在した求職者を対象とした「出張オープンキャンパス」や、eスポーツを通じてものづくりの魅力を伝える「出張オープンキャンパス」を開催しました。多くの市民の皆様にご参加いただき、大変好評でした。この他、体験入学とオープンキャンパスに同日に開催して参加者が当校の複数イベントに参加しやすい工夫をしました。また、支援を必要とする家庭に職業訓練受講料を補助するため、福祉分野のケースワーカーへの説明会を実施しました。さらに、地元法人会からの相談を受け、小学生の職業観を醸成するイベント「トレジャーハンティングinつるみ」に会場提供をし、地域との連携を図りました。	
							【収入】②		18,017		15,681		19,336			
							【支出】③		138,915		194,943		268,829			
							【収支差引】④		119,102		131,267		151,543			
19	産業労働局	神奈川障害者職業能力開発校	相模原市	職業能力開発促進法に基づき国立障害者の公共職業能力開発施設であり、障害者が就職するために必要な知識・技能を習得するための普通職業訓練(普通課程・短期課程)等を実施するため	■敷地面積 20,669.74㎡(国有地) ■延床面積 9,353.53㎡(国有財産) ■建築年 昭和50年	土地 (国有地) 3,864,969千円 建物 (国有財産) 1,002,317千円	【利用状況】①	96人		79人		160人		訓練生の数(実人員)	訓練生等の増加を図るため、公共職業安定所と連携し、「出張職業訓練説明会」「オープンキャンパス」を活用したハローワーク職員への見学ツアーを開催しました。加えて、就職支援イベントの開催に際して「CADミニ・ト」を新たに開催するなど、広報強化の取組を実施しました。また、老朽化した施設の修繕にあたり、年度によって実施が出ていないよう計画を立て、執行の標準化を図りました。	
							【収入】②		212		139		128			
							【支出】③		80,308		91,539		268,514			
							【収支差引】④		131,904		128,366		169,742			
20	産業労働局	西部総合職業技術校【法令必置】	茨城市	職業能力開発促進法に基づき公共職業能力開発施設として、離職者や新規高卒者等の求職者が就職に必要な知識と技能を身に付けるための普通職業訓練(普通課程・短期課程)等を実施するため	■敷地面積 20,669.74㎡ ■延床面積 16,442.22㎡ ■建築年 平成25年	土地 1,362,549千円 建物 3,343,417千円	【利用状況】①	378人		335人		512人		訓練生の数(実人員)	中小企業等により良い産業人材を供給するため、ハローワークと連携して、ハローワークに所在した求職者を対象とした「出張オープンキャンパス」や、短時間で複数の職種を体験できる「よここし」に加え、オンライン配信で当校を紹介する「Webオープンキャンパス」などのイベントを開催し、多くの市民の皆様にご参加いただき、大変好評でした。この他、予め日程を定めて開催する「オープンキャンパス」に加え、予約不要でいつでも気軽に参加できる「スマートオープンキャンパス」を実施しました。また、支援を必要とする家庭の方が就労につながるよう職業訓練受講料を補助するため、県の福祉分野のケースワーカーの会議や児童福祉施設の職員に当校の概要や募集について説明を行いました。	
							【収入】②		13,698		11,048		20,097			
							【支出】③		157,006		178,965		77,454			
							【収支差引】④		114,792		109,913		142,643			
21	県土整備局	いせはら塔の山緑地公園	伊勢原市	自然環境や立地特性を活かした広域的な利用のありかを図るとともに(整備中)	■敷地面積 13,599.8㎡(私有地12.38ha含む) ■敷地面積 11,183.00㎡ ■延床面積 178.86㎡	土地 615千円 建物 32,786千円	【利用状況】①	13,041人		18,694人		18,694人		来園者の延べ人数	来園者増を図るため、園内で採取したドングリ等を使用したクラフト体験や花壇への花苗及びチューリップの植栽の体験イベントなどを積極的に開催するとともに、SNS上によるイベントや公開の最新情報を配信するといった工夫をしながら、公園の魅力の向上に努めました。	
							【収入】②		0		0		0			
							【支出】③		20,975		19,713		39,898			
							【収支差引】④		17,938		38,094		43,610			
22	県土整備局	真鶴港	真鶴町	港湾法に基づく地方港湾として、漁業者、真鶴産石材産出事業者、ヨット利用者等の利用に供することができる場の提供のため	■係留施設(第1号揚場138a)他	土地 291,909千円 建物 79,360千円	【利用状況】①	令和5年度まで指定管理者制度を導入。				令和7年度から指定管理者制度を導入。		ヨット出航回数	令和5年度まで指定管理者制度を導入していましたが、令和6年度から県の直営となりましたが、必要と判断を懸念して運営を引き継ぎ、令和7年度に指定管理者制度を再導入されるまで運営を支援して行いました。	
							【収入】②		0		0		0			
							【支出】③		30		34		36,676			
							【収支差引】④		9,784		10,451		15,942			
23	企業庁	神奈川県水道記念館	秦川町	水道に関する知識の普及啓蒙を図り、水道事業者への市民の理解と認識を深めるため	■敷地面積 16,829.74㎡ ■延床面積 907.80㎡ ■建築年 昭和10年	土地 291,909千円 建物 3,363千円	【利用状況】①	24,802人		42,046人		42,046人		来館者の延べ人数	来館者の増加を図るため、計画的な維持・修繕を行い、適切な維持管理をしながら、パネルや展示装置等を用いた普及啓蒙を推進しました。また、一般財団法人がわわ水・エネルギーサービスの協力を活用し、来館者の増加を図りました。	令和7年度からは県企業庁の委託による運営に変更しています。
							【収入】②		0		0		0			
							【支出】③		30		34		36,676			
							【収支差引】④		9,784		10,451		15,942			
24	教育局	県立図書館	横浜市	図書、記録その他必要な資料を収集し、整理し、保存し、読者の利用に供し、その教育、調査研究、レクリエーション等に資するため	■敷地面積 7,651.58㎡ ■延床面積 15,890.04㎡ ■建築年 昭和29年	土地 1,662,964千円 建物 2,783,654千円	【利用状況】①	239,424人		249,408人		255,000人		来館者の延べ人数	令和4年9月に開始した本館のサービス向上のため、企画展を1回実施しました。特別展のうち3回は、当館が保管する文化財を中心に、重要文化財の「原本」を目の当たりにできる機会を増やしました。この文化財が市民の誇りとして認められ、後世に伝えていけることを目指しています。また、館外から多くの文化財を借入した特別展3回は、市民に新たな視点を提供する大型展示として、多数の来館者を迎えることができました。さらに、月例の講座だけでなく、特別展の理解を深めていただくための解説講座や展示解説、種々の古文書をわかりやすく解説する講座、過去の特別展図録を教材にした講座など、来館者を実現するためのイベントを、例年増して多く企画・実施しました。	
							【収入】②		19,310		22,454		26,976			
							【支出】③		280,840		1,545,542		3,347,214			
							【収支差引】④		161,470		1,312,912		2,946,736			
25	教育局	川崎図書館	川崎市	自然科学及び工業に関する図書並びに一般図書、記録その他必要な資料を収集し、整理し、保存して、一般読者の利用に供し、その教育、調査研究、レクリエーション等に資するため	■敷地面積 2,490.71㎡(株)ケイエスサービスより借上 ■敷地面積 1,252.90㎡(市有地) ■延床面積 3,550.38㎡ ■建築年 昭和33年	土地 (市有地) 2,490千円 建物 (ながわサイエンスパーク内 平成30年移転) 3,363千円	【利用状況】①	99,693人		99,938人		100,000人		来館者の延べ人数	神奈川県まなびや基金を活用して子どもから大人まで利用できるものづくりと関連した入館の資料を整備・提供したほか、入館施設にあるホタルARUKSPと連携し宿泊客向けの資料貸し出しを行うなど利用者の利便性の向上に努めました。	令和6年度 ・ホームページアクセス数 →633,847件(県立図書館と共通のトップページへのアクセス)
							【収入】②		257		276		320			
							【支出】③		18,532		21,399		18,741			
							【収支差引】④		138,417		155,837		228,555			
26	教育局	金沢文庫	横浜市	史跡金沢文庫に保管されている古文書その他の文化財及び中世における歴史、芸術等の人文学に関する資料の収集、保管、展示等を行い、市民の知識及び教養の向上を図るため	■敷地面積 2,971.42㎡ ■延床面積 2,905.96㎡ ■建築年 平成2年	土地 404,458千円 建物 173,485千円	【利用状況】①	27,115人		38,953人		31,820人		来館者の延べ人数	令和6年度 ・ホームページアクセス数 →153,949件 ・国史金沢文庫データベースアクセス数 →39,232件	
							【収入】②		10,639		14,462		23,315			
							【支出】③		22,183		36,342		26,827			
							【収支差引】④		11,076		12,582		19,803			
27	教育局	近代美術館(葉山館)	葉山町	近代美術に関する資料の収集、保管及び展示並びにこれに関する調査研究、情報提供等を行い、市民の近代美術に対する知識及び教養の向上を図るため	■敷地面積 15,034.86㎡ ■延床面積 7,112.2㎡ ■建築年 平成15年	土地 1,552,530千円 建物 (P F I) 780,284千円	【利用状況】①	87,775人		49,924人		50,000人		近代美術館全体の来館者の延べ人数	令和6年度は、葉山と鎌倉館を合わせたさまざまなテーマのコレクション展・企画展を全11回開催しました。このうち4回は、当館が収蔵するコレクションを中心に展示を構成し、収蔵作品を直接ご覧いただく機会を増やすことに努めました。当館が保管する作品を市民の皆さんに身近に感じていただくため、次世代へ継承していくことを目指しています。また、収蔵作品を活用した展覧会の実施は、館外から作品を活用する際にかかる経費の削減にもつながっています。さらに、作品の修復過程に焦点を当てた「てあて・まもり・のこす」展では、文化財を未来へ伝えていくための活動を認知するとともに、新たな視点の提供を促す展示として、多くの来館者をお迎えすることができました。また、美術の理解を深めていただくためにギャラリートーク、ワークショップなどを実施し、来館者の増加に向けた取り組みを積極的に進めました。	
							【収入】②		42,997		29,662		67,199			
							【支出】③		439,543		440,976		466,257			
							【収支差引】④		183,454		188,889		111,524			
28	教育局	近代美術館(鎌倉館)	鎌倉市	近代美術に関する資料の収集、保管及び展示並びにこれに関する調査研究、情報提供等を行い、市民の近代美術に対する知識及び教養の向上を図るため	■敷地面積 4,937.00㎡ ■延床面積 1,902.93㎡ ■建築年 昭和58年	土地 781,033千円 建物 780,284千円	【利用状況】①							(葉山館に含みます。)	(葉山館に含みます。)	
							【収入】②									
							【支出】③									
							【収支差引】④									

No.	所管局	施設名	所在市町村	設置目的	施設概要	財産価格	利用状況・収支等の状況 (単位:千円)						利用状況の数値の内容	運営改善	備考		
							R05(決算ベース)		R06(決算ベース)		R07(予算ベース)						
							人数	収支等	人数	収支等	人数	収支等					
29	教育局	歴史博物館	横浜市	神奈川の文化及び歴史に関する資料の収集、普及及び展示並びにこれに関する調査研究、情報提供等を行い、県民の学習活動を支援するため	■敷地面積 4,160.82㎡ ■延床面積 10,565.47㎡ ■建築年 明治37年	土地	4,052,081千円	【利用状況】①	129,784人		111,713人		0人		特別展「近代輸出機器のダイナミズム」展では、当館の近代美術史研究をベースに、横浜と深い関わりを有する近代の輸出機器を充実した個人コレクションにより紹介し、約1万5,000人の来館者にご覧いただきました。常設展では、展示替えとトピック展示等により、当館所蔵資料を広く知ってもらう機会を提供したほか、老朽化したグラフィックパネルの更新に継続的に取り組みました。学習支援事業では、夏休み期間に近隣館園と連携して行うミュージアム・ミッションを継続して実施する等、子どもとその保護者を対象とした取組をさらに充実させ、学芸員による出張講座や、インターンシップ、職場体験の受け入れ等、積極的に学校と連携し、若年層への働きかけを行いました。 また、令和7年1月から令和8年9月(予定)まで設備等改修のため休館し、エレベーター更新工事や照明LED化工事などを行うほか、展示説明文や館内案内を分かりやすいものに直直し、「来てもらい、また来てもらう博物館」を目指した改善を進めています。	令和7年1月1日から令和8年9月まで改修工事のため休館予定です。 令和6年度 ・ホームページアクセス数 →5,702,722件 ・神奈川県立歴史博物館デジタルアーカイブアクセス数 →102,831件	
						建物	4,471,457千円	【収入】②	36,866		28,033		10,280				
						事業費	83,573					107,394	390,582				
						維持管理経費		112,941		137,744		113,641					
						人件費		23名	23名	23名		4名	350,735				
						再任用	5名	4名	2名		1名						
						臨時任用	0名	329,801	356,842								
						会計年度任用	30名		31名		31名						
						【支出】③	526,315		601,980		854,958						
						収支差引②-③		△ 489,449		△ 573,947		△ 844,678					
利用者一人当たりコスト③/①		4.1		5.4		0											
利用者一人当たり県負担額(③-②)/①			3.8		5.1	0											
30	教育局	生命の星・地球博物館	小田原市	地球及び生命の営みに関する資料の収集、保管及び展示並びにこれに関する調査研究、情報提供等を行い、県民の学習活動を支援するため	■敷地面積 22,614.5㎡(うち県有地 11,354.05㎡) ■延床面積 19,064㎡ ■建築年 平成6年	土地	320,814千円	【利用状況】①	254,313人		271,143人		271,143人	約4か月にわたり開催した特別展「生命の星・地球博物館の30年」においては、開館30周年を迎え、これまでに収集した120万点から厳選した資料を用い、「今までの博物館活動を「集める・調べる・伝える」に分けて紹介しました。併せて、「未来へ」というテーマで来館者が期待する当館の未来像をメッセージボードに展示するなどの工夫も行なうなど、よりよい運営を目指しました。 また、まなびや基金の事業提案型若年層展を実施するなど、いっそうの経費の削減を図りました。	特別展「生命の星・地球博物館の30年」の開催期間中には、約124,000人の来館者がありました。 令和6年7月17日に放映されたNHKのテレビ番組「ザ・バックヤード」は大きな反響がありました。 令和6年度 ・ホームページアクセス数 →664,445件 ・神奈川県立生命の星・地球博物館収蔵資料データベースアクセス数 →279,977件		
						建物	3,191,031千円	【収入】②	60,564		64,650		67,150				
						事業費	44,560					161,776	36,666				
						維持管理経費		204,403		217,061		301,415					
						人件費		28名	29名	31名		1名	387,129				
						再任用	3名	2名	0名		0名						
						臨時任用	16名	345,643	358,015								
						会計年度任用	18名		17名		21名						
						【支出】③	594,606		736,852		725,210						
						収支差引②-③		△ 534,042		△ 672,202		△ 658,060					
利用者一人当たりコスト③/①		2.3		2.7		2.7											
利用者一人当たり県負担額(③-②)/①			2.1		2.5	2.4											